

## 新たなごみの資源化施設について

「町田市一般廃棄物資源化基本計画」を踏まえて、2013年に策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、整備を進めている新たなごみの資源化施設について、2016年12月以降の進捗状況等を報告いたします。

### 1 資源ごみ処理施設（ビン・カン、ペットボトル、容器包装プラスチック等）

#### （1）相原エリア

「相原地区資源ごみ処理施設連絡会」における施設計画等の検討結果を踏まえて、発注仕様書の検討を行っています。また、資源ごみ処理施設の建設用地に関しては、引き続き調査及び地権者との調整を行っています。

今後、「相原地区資源ごみ処理施設連絡会」では、事業の進捗に合わせて発注仕様書の確認や施設の運営等に関する検討を進めていきます。

#### （2）上小山田エリア

資源ごみ処理施設の建設用地について、関連する忠生579号線の道路事業と併せて測量調査等を進めています。また、施設計画の検討の参考とするため、2017年2月6日に「上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会」委員及び周辺住民の皆様と、「リレーセンターみなみ」と多摩市の資源ごみ処理施設「エコプラザ多摩」の視察を行いました。

今後、「上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会」では、周辺環境への配慮した施設計画の検討を進めていきます。

### 2 熱回収施設等（熱回収施設、バイオガス化施設、不燃粗大ごみ処理施設）

#### （1）地区連絡会

第12回「町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会」を2017年2月8日に開催し、外観デザインについて検討を行いました。2017年6月頃までに事業者が提案した3案から1案を選定する予定です。

#### （2）事業の進捗状況について

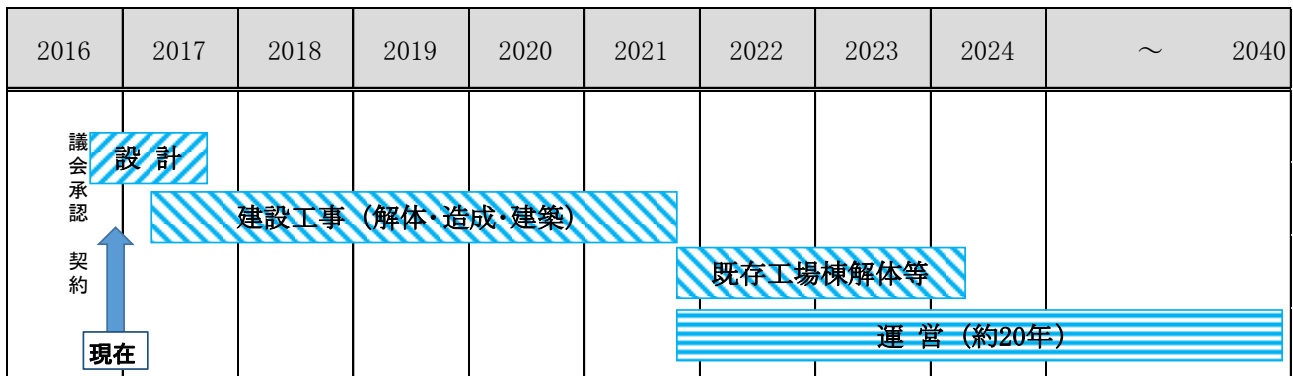
工事の着工に向けて、基本設計協議、施設整備に伴う宅地造成の許可等の法令手続きや調整を進めております。

また、既存の管理棟等の解体工事に先立ち、2017年2月に完成した仮設管理棟へ事務所を移転し、2017年3月6日から仮設管理棟での業務を開始しております。

(3) 今後のスケジュール（予定）

2017年5月 工事説明会開催（4会場）  
 2017年7月頃 工事着工（解体、造成、建築）  
 2022年1月 熱回収施設等の整備完了／ 熱回収施設等の運営開始  
 2024年6月 既存工場棟等の解体撤去、外構工事等の完了

(年度)



(4) 東京都環境影響評価条例に基づく調査について

2016年11月に東京都へ提出した環境影響評価書に基づいて、工事の進捗に合わせて実施する事後調査計画書を作成しました。今後、この計画書に即して、工事中の環境状態や環境保全措置等の確認を行います。

デザインコンセプト

# 「MACHI TERRACE」 まちテラス

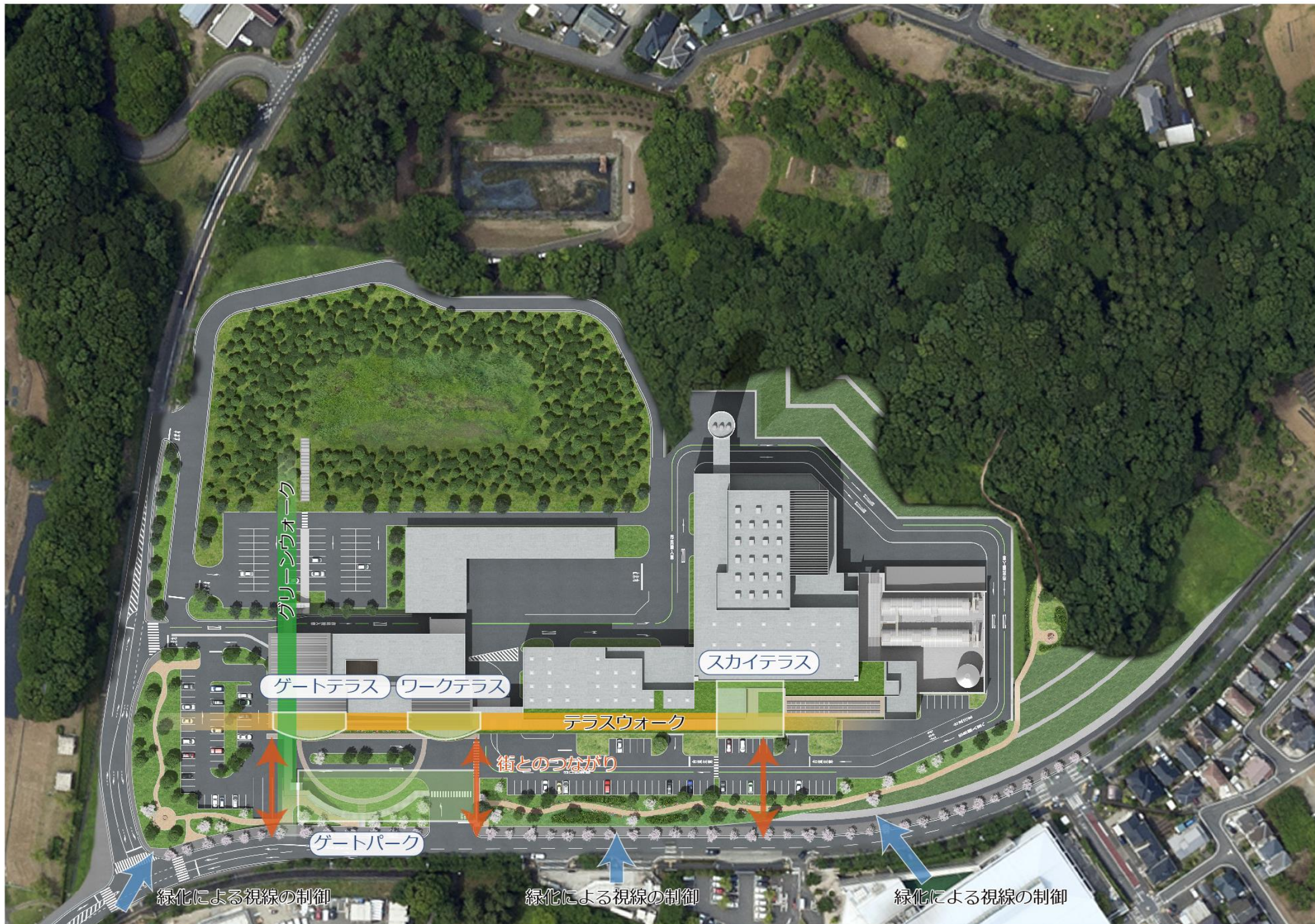
「まちテラス」と言う市民が気軽に集い、出会える空間をデザインします。2階レベルを市民開放空間とし、誰でも安全にアクセスできる空間で、街並との連続した空間構成となります。

## 地域に親しまれるデザイン

- 地域に開かれた「MACHI TERRACE」の提案
  - ・ 周辺の街に開かれた「まちテラス」と「公園」を計画します。街との繋がりとなる南側の入口部分に「ゲートパーク（市民の広場）」を配置し、施設の2階及び3階に3つの「テラス」を計画し、立体的に開放的な施設計画とします。

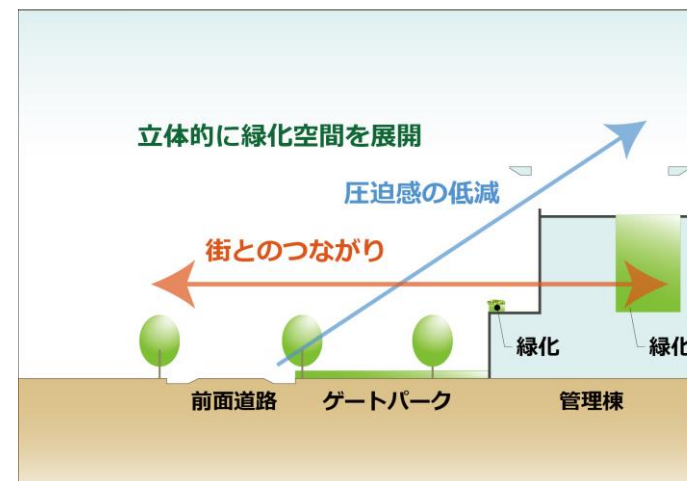
- 人々が集い・出会い・憩える空間デザイン
  - ・ 管理棟の「ゲートテラス」は、「テラスウォーク」と「グリーンウォーク」の交差点となり、様々な出会いが生まれます。管理棟の入口でもある「ゲートテラス」は、集い、出会い、憩いの場となります。

- 次世代に向けた市民の誇れるデザイン
  - ・ 外観は、周辺環境に調和した明るく開放的なデザインとします。町田市は「絹の道」の拠点として発展した歴史をもっています。「まちテラス」は、未来と市民とをつなぎ「町田らしさ」を市民と共に発見していくきっかけとなる施設とします。そして、この施設が子供たちの環境学習の場として、美しい外観・空間がイメージに残るデザインとします。



## 周辺環境との調和を図るデザイン

- 周辺の豊かな緑に配慮したデザイン
  - ・ 工場棟は効果的に壁面緑化を計画し、周辺の緑との相乗効果をもたらします。
  - ・ 施設南側に立体的に緑化空間を展開します。
  - ・ 南側街路沿いには、現在ある桜並木を守ります。
- 人と人・人と自然を繋ぐ「テラス」の提案
  - ・ 様々な場所の中で人と人、人と自然が出会う「テラス」を計画します。「テラス」は周辺環境を取り込み自然を感じる空間となります。
- 周辺の街並みに圧迫感を与えない計画
  - ・ 南側断面をセットバックすることにより、南側道路からの圧迫感を低減します。セットバックした2階部分は、「周辺の街」との繋がりを演出します。
- バランスの良い色彩計画
  - ・ 自然素材をベースにした落ち着いた色彩計画とします。木の色、植栽の色、コンクリートの色、ガラスの色等素材の色をそのまま表現することで環境に刺激を与えない色彩計画とします。



注記) 本紙に示すパース図などは事業者提案によるイメージ図であり、実施設計により変更となる場合があります

※町田市熱回収施設等（仮称）整備運営事業  
要求水準書に記載されている基本条件より

### 本事業における4つの事業コンセプト

- ①市民の生活環境に配慮した施設
- ②市民が安心して生活できる災害に強い施設
- ③市民が共に学び・遊び・育むことのできる施設
- ④市民が安全に生活できる安定的な運営

事業コンセプトを  
受け外観デザインの  
コンセプトを設定



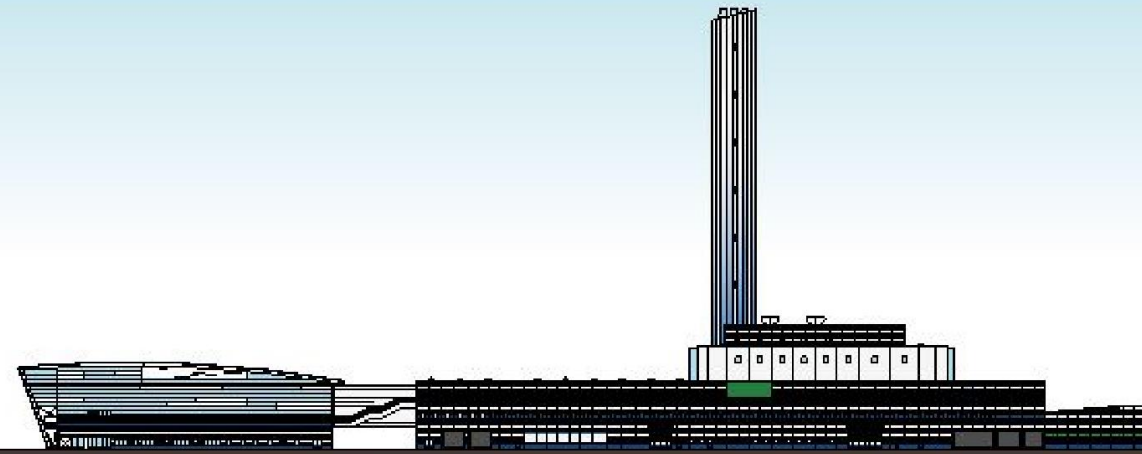
”すべては市民のために”という想いのもと  
市民の皆様の暮らしを将来まで照らす  
「まちテラス」をコンセプトとし、ご提案します

- ①地域に開かれたデザイン
- ②地域の人々が誇れる施設
- ③地域で育つ子供たちの  
心象風景として残る美しいデザイン
- ④やさしい印象の形態

### A案の特徴

- 地域に開かれたデザイン
- 先進的で賑わいを感じるデザイン
- 両端に丸屋根を配置することで柔らかな印象を表現
- 先進性と清潔感をイメージするカラーデザイン
- 効果的な壁面緑化によるモダンデザイン

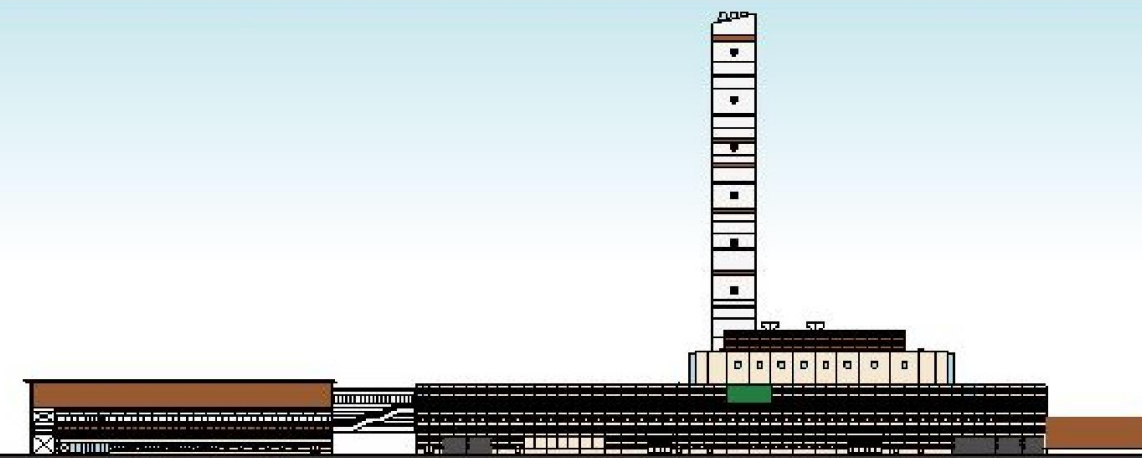
形態はやさしいイメージをもち、先進的で  
印象的な外観は、ここに集う市民の誇りとな  
るデザイン



### B案の特徴

- シンプルで刺激の少ないデザイン
- 木調ルーバーによる柔らかな表現
- アースカラーによる自然色の採用
- 全体の統一感を木調ルーバーで表現
- 穏かな雰囲気をかもし出すデザイン

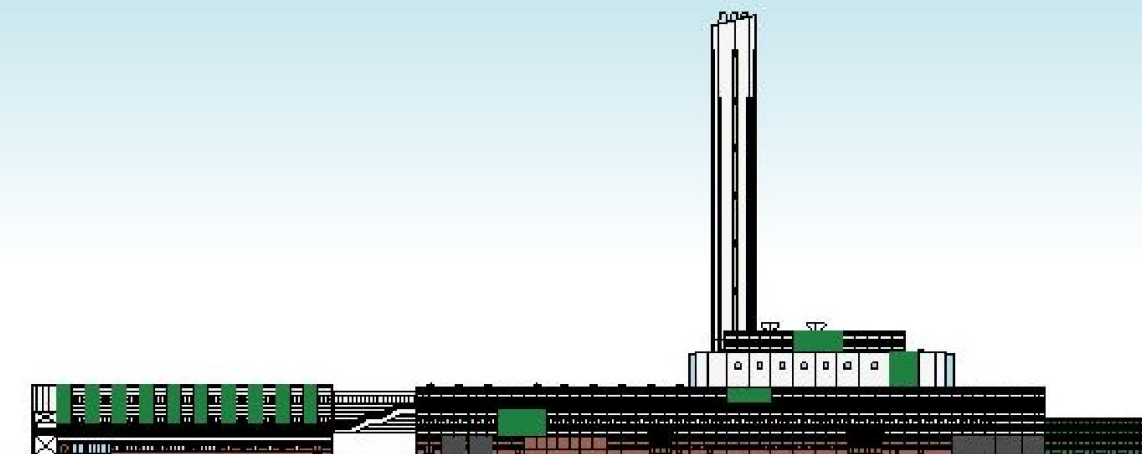
シンプルな形態の中に木調ルーバーとア  
ースカラーによるやさしい雰囲気を表現した  
デザイン



### C案の特徴

- 空調負荷低減に配慮した外観デザイン
- 緑化を中心としたデザイン
- 茶系色による落ち着いたカラーデザイン
- 全体の統一感を壁面緑化で表現
- 周辺の緑の中になじむ外観デザイン

壁面緑化を多用し、周辺の緑になじむ外観  
としながら、基壇部にレンガ色を採用し重  
厚感も表現したデザイン



注記) 本紙に示すパース図などは事業者提案によるイメージ図であり、実施設計により変更となることがあります